



笑顔がいっぱいの子どもたち



黒板を使って勉強するんだよ

児童の感想より

ガーナの子どもたちは、黒板を使って勉強すると聞いてびっくりしました。先生に見せてもらったノートは、私たちが使っているのとちがって、線がうすかったり、切れたりしているところがありました。今まで考えたこともなかったけど、ノートを大事に使いたいなと思いました。

ガーナの子どもたちは、みんな笑顔で幸せそうでした。私も、物だけじゃなく、家族や友達も大切にしていきたいと思いました。

6・7 時 限目 ガーナの子どもたちと友達になろう

今までに学習してきたことをふり返った後、青年海外協力隊員の正田さんから預かってきた手紙を児童に渡した。手紙は、ほとんどがローマ字で書いてあり、1通を3～4人で協力して読み合った。顔写真やガーナの硬貨が入っているものもあった。

返事を書く前に、簡単な英語を少しだけ学習した後、英語とローマ字で書き進めた。児童は、手紙の質問に答えたり、家族や好きなスポーツの紹介をしたりしていた。全員が顔写真を撮って入れたが、自主的に鉛筆やお金、手作りのマスコットなどを同封する児童もあった。児童は、ガーナの友達ができることをとても喜んでいて、はりきって活動していた。ガーナの友達への手紙



児童の感想より

「日本は車の国ですか?」という質問がたくさんあってびっくりした。四季があることなど、日本のことをよく知っていると思った。

手紙の返事が来るのがとっても楽しみです。

8 時 限目 学習発表会「ワールド大作戦」～世界を知ろう～

ガーナの場面は7分程度であったが、音楽を中心に構成しなかったのが、楽器の演奏やダンスを取り入れながら「チェッチェコリ」という数え歌を紹介した。練習する前には、ガーナで撮ってきた「チェッチェコリ」のビデオを見て、意欲を高めた。

学習発表会「ワールド大作戦」～世界を知ろう～ 原稿(一部)

- | | |
|-------|--|
| ナレーター | ここは、ガーナの首都、アクラの小学校です |
| 先生① | メモア・ハー |
| ガニアン全 | メモア・ハー |
| 先生① | まあ、素敵な楽器!これは何という楽器なんですか? |
| ガニアン① | これは、ジャンベという楽器です。西アフリカの国では、有名なドラムです。叩いてみませんか。 |
| 先生① | はい、教えて下さい。 |
| ガニアン② | よく聞いていて下さいね。
♪ジャンベ演奏 ね、簡単でしょ? |
| 先生① | ♪ジャンベ演奏 できた! |
| ガニアン② | せーの。 |
| ガニアン全 | (拍手 タンタンタタタン)やったね! |
| 先生① | 今は、何ですか? |
| ガニアン③ | ガーナの拍手です。リズムがあっていいでしょ? |
| ガニアン④ | ねえ、みんなで、セッションしませんか? |
| ガニアン全 | 賛成!
♪セッション |
| ガニアン④ | せーの |
| ガニアン全 | (拍手 タンタンタタタン)やったね! |
| 先生① | ありがとう。ガーナの人たちにとって、音楽は、本当に身近なものなんですね。楽しかったです! |
| ガニアン⑤ | どういたしまして。私たちも日本人とセッションするなんて、初めてでした。こちらこそ、メダーシ。 |
| 先生① | あの、お願いがあるんですけど…。ガーナの遊びを教えてくださいませんか? |
| ガニアン⑥ | では、「チェッチェコリ」という数え歌で遊びましょう。 |
| 先生② | はい、よろこんで! |

ガニアン⑦ リーダーのまねをして下さいね。

♪チエッチェッコリ♪

リーダー	全
エブリバディ?	イエス!
※チエッチェッコリ	チエーコリ
チエッチェッコリ	チエーコリ
チエッチェッコフィッサ	チエッチェッコフィッサ
コフィッサランガ	コフィッサランガ
クム アエデ	クム アエデ
※くり返し	
コクロッコ	アーコ
コクロッコ	エービエン
コクロッコ	エバサ
コクロッコ	アーナム
コクロッコ	エーヌム
コクロッコ	エーシア
コクロッコ	エーシオン
コクロッコ	アーウチェ
コクロッコ	アーコン
コクロッコ	エードゥ! (ジャンプ)

ガニアン⑧ どうでしたか?最後の部分は、1から10までの数になっているんですよ。

先生② 日本に帰って、弓小の子どもたちに教えてあげたいと思います。メダーシ。



♪チエッチェッコリ

保護者や地域の方の感想より

学習したことが活かされた内容で、よくまとまっていたと思います。

ガーナの踊りは、子どもたちが生き生きと発表していましたね。

いろいろな価値観で世界を見ることができる人になってほしいと思っています。

❖成果と課題

〈成果〉

- ・アフリカやガーナとの「よい出会い」をしてほしいと思いながら授業案を作成し、実践してきた。児童はいつも目を輝かせていて、授業が終わるごとに、「次の勉強はいつですか?」と楽しみにするなど、意欲的に学習することができた。
- ・総合的な学習のまとめとして、世界の国々について、自分でテーマを設定して調べ学習をしたが、ガーナからアフリカ諸国に興味を持った児童も多かった。
- ・ガーナの小学生との文通は、「共に生きる仲間」という意識を高める上で、効果的だった。児童は、ガーナをより身近な存在として感じる事ができたと思う。
- ・学習発表会では、学習したことを保護者や地域の方に発信することができた。また、保護者への啓発として、参観日の学級懇談にガーナで研修してきたことを伝えたり、毎週発行している学級通信では「ガーナだより」として、ガーナのミニ情報を載せたりした。保護者の方からもたくさんの反響をいただくことができた。

〈課題〉

- ・授業は、行事や日程などの都合で、手紙を書く活動以外は学年単位で進めることになった。93人ということで、見たり聞いたりする活動が多くなり、参加型の活動が少なくなってしまった。

- ・「触れる」「知る」「つなげる」という流れで授業を計画したが、内容が盛りだくさんになってしまった。児童にとっては、情報が多すぎたと思う。特に1・2時限目授業では、もう少し内容を精選すべきだった。
- ・今後も、ガーナから持ち帰った教材や、今年度の授業実践を生かして、国際理解教育を進めていきたいと思う。

📖 参考資料

「はくはまほうつかい」アートン
「アフリカの音」講談社
世界の伝記「野口英世」集英社
生まれ曜日調べ
<http://www.itagaki.net/trv/thai/birthday/index.html>

- 田中 紀子 報告書①
- 古郡 匠子 報告書②
- 村木 啓司 報告書③
- 黒森 美由紀 報告書④
- 黒明 堅一郎 報告書⑤
- 山崎 知代子 報告書⑥
- 祝迫 直子 報告書⑦
- 河毛 樹 報告書⑧
- 森 泰三 報告書⑨
- 安部 一実 報告書⑩
- 参考資料

